

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
ー	高水準な建物のエネルギー対策の推進	千代田区建築物環境計画書制度の運用(新築建物の低炭素化)	I-1-a	業務・家庭	○建築物環境計画書制度届出件数:40件 ○建築物環境計画書制度の見直し	○建築物環境計画書制度届出件数:29件 ○【計画を前倒して実施】建築物環境計画書制度を見直し、建築計画の初期段階から省エネ化についての協議を行う「事前協議」の制度構築を行った。制度構築とあわせてインセンティブとしての低炭素建築物助成制度の検討も行った。	a	新制度(事前協議)の実施により、CO2の排出量をより多く削減していく。	○建築物環境計画書制度届出件数:40件 ○事前協議回数:60回 ○低炭素建築物助成申請件数:10件
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【業務版】(既存建物の低炭素化)	I-2-a	業務	○グリーンストック作戦の実施 ○省エネルギー診断実施件数:15件	○グリーンストック作戦の実施 ・周知、説明会の実施 ・報告会の実施 ・ニュースレターの発行 ○省エネルギー診断実施件数:11件	b	○ビルのオーナーとテナントの連携を図る施策が必要である。 ○平成27年度は助成制度を休止していたため、省エネ診断実施件数が減少した。平成28年度は、助成制度とあわせて省エネ診断を周知していく。	○グリーンストック作戦の実施 ○省エネルギー診断実施件数:15件
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【業務版】(既存建物の低炭素化)	I-2-b	業務	○中小テナントビル省エネ改修助成申請件数:30件 ○助成制度の見直し	○中小テナントビル省エネ改修助成申請件数:H26 4件、H27 17件(計21件) ○助成制度を見直し、「省エネルギー改修等助成制度」を構築(平成28年4月から運用開始)	b	○中小テナントビル省エネ改修助成は、基となる東京都助成制度の要件や手続きが煩雑であったため、申請件数が伸びなかった。 ○平成28年度は、新たな助成制度の普及啓発を行う必要がある。	省エネルギー改修等助成申請件数(事業所ビル):15件
ー	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【マンション版】(既存建物の低炭素化)	I-3-a	家庭	○グリーンストック作戦マンション版の実施 ・モデルマンションの選定 ・ワーキンググループの開催 ・報告会の実施 ・ニュースレターの発行 ・モデルマンションの消費エネルギー計測	○グリーンストック作戦マンション版の実施 ・モデルマンションの選定:4棟 ・ワーキンググループの開催:12回 ・報告会の実施:1回 ・ニュースレターの発行:8回 ・モデルマンションの消費エネルギー計測:2棟	b	既築マンションの省エネ化を進めるうえで、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの導入は難しく、個々の設備改修では効果が限られてしまう。	省エネルギー改修等助成を活用した設備導入等の実施
ー	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【マンション版】(既存建物の低炭素化)	I-3-b	家庭	助成制度の見直し	助成制度を見直し、「省エネルギー改修等助成制度」を構築(平成28年4月から運用開始)	b	マンション向けの省エネを推進するために、助成制度の普及啓発を行う必要がある。	省エネルギー改修等助成申請件数(マンション共用部):6件

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-a	業務	<p>下記施設の大規模改修にあわせ、省エネ改修を実施する。</p> <p>(1) 麴町保育園 ・LED照明 ・全熱交換機 ・コージェネレーション ・断熱吹付及びLow-Eガラス ・雨水利用 ・屋上緑化</p> <p>(2) (仮称)区営東松下町住宅 ・LED照明 ・全熱交換機 ・断熱吹付及びLow-Eガラス ・雨水利用</p> <p>(3) 九段小学校 ・LED照明 ・全熱交換機 ・コージェネレーション ・断熱吹付及びLow-Eガラス ・雨水利用</p>	b	—	<p>下記施設の大規模改修にあわせ、省エネ改修を実施する。</p> <p>(1) 麴町保育園(平成28年5月竣工予定) (2) (仮称)区営東松下町住宅 (3) 九段小学校</p>	
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-b	業務	<p>下記施設のLED化を実施</p> <p>(1) 九段中等教育学校 (2) ちよだパークサイドプラザ (3) 千代田万世会館 (4) 麴町小学校 (5) 昌平小学校 (6) 公園灯</p>	<p>(1) 九段中等教育学校(多目的室のLED化) (2) ちよだパークサイドプラザ(多目的室及びプールのLED化) (3) 千代田万世会館(全館を対象にLED化していない照明のLED化) (4) 麴町小学校(プールのLED化) (5) 昌平小学校(プール及び多目的ホールのLED化) (6) 公園灯(清水谷公園外7公園にLED公園灯48基を設置)</p>	b	—	<p>下記施設のLED化を実施</p> <p>(1) 九段生涯学習館(レクリエーションホールのLED化) (2) 岩本町ほほえみプラザ(多目的ホールのLED化) (3) いきいきプラザ一番町(エントランスホールのLED化) (4) 昌平小学校(エントランスホールのLED化) (5) 和泉小学校(体育館のLED化) (6) 九段中等教育学校(柔剣道場のLED化) (7) 公園灯(富士見児童公園外9公園にLED公園灯53基を設置)</p>
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-c	業務	<p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え検討 ・神田警察通りの設計 ・明大通りの設計</p> <p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え整備 ・一八通り電線類地中化推進路線における工事</p>	<p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え検討 ・神田警察通りの設計 ・明大通りの設計</p> <p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え整備 ・一八通り電線類地中化推進路線における整備: 12基</p>	b	—	<p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え整備: 2件 ・神田警察通り I 期 ・明大通り I 期</p> <p>○街路灯の省エネタイプへの切り替え検討: 5件 ・代官町通り ・明大通り II 期 ・神田警察通り II 期 ・大門通り ・英国大使館西側</p>

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
ー	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-d	業務	<p>○現行施設への供給継続:8施設 ○供給先の拡大:2施設</p>	<p>○現行施設への供給継続:8施設 ○供給先の拡大:2施設</p> <p><年度別導入状況> 【平成22年度】九段小学校・幼稚園(H27.11.2改築工事のため契約終了)、番町小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園 【平成23年度】九段中等教育学校(富士見校舎) 【平成24年度】四番町図書館 【平成25年度】日比谷図書文化館、麴町中学校 【平成26年度】九段中等教育学校(九段校舎) 【平成27年度】飯田橋車庫(管理棟・車庫棟)、三崎町中継所</p>	b	<p>○教育施設への東京エコサービスの導入が進み、他の区有施設への導入がどこまでできるかが不透明である。(東京エコサービスの供給にも限界があるため) ○区有施設の老朽化が進んでおり、今後改修工事等が予想され、工事の際は、東京エコサービスとの契約が終了になる。また、建替え後に当該会社と再度契約できるかが不透明である。</p>	<p>○現行施設への供給継続:9施設(H28.4.1現在) ○供給先の拡大:3施設(一番町児童館、四番町庁舎(四番町児童館・保育園)、外濠公園グラウンド)</p>
ー	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-e	業務	<p>下記施設へ太陽光発電設備を導入 (1)麴町保育園 (2)九段小学校</p>	<p>下記施設へ太陽光発電設備を導入 (1)麴町保育園 (2)九段小学校 (3)【計画に追加で実施】(仮称)区営東松下町住宅</p>	a	ー	<p>下記施設へ太陽光発電設備を導入 (1)麴町保育園(平成28年5月竣工予定) (2)九段小学校 (3)【計画に追加で実施】(仮称)区営東松下町住宅</p>
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-a	業務	<p>○中小テナントビル省エネ改修助成申請件数:30件 ○助成制度の見直し</p>	<p>○中小テナントビル省エネ改修助成申請件数:H26 4件、H27 17件(計21件) ○助成制度を見直し、「省エネルギー改修等助成制度」を構築(平成28年4月から運用開始)</p>	b	<p>○中小テナントビル省エネ改修助成は、基となる都助成制度の要件や手続きが煩雑であったため、申請件数は伸びなかった。 ○平成28年度は、新たな助成制度の普及啓発を行う必要がある。</p>	<p>省エネルギー改修等助成制度申請件数(事業所ビル):15件</p>
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-b	業務	<p>下記施設へ地中熱利用設備を導入 (1)麴町保育園 (2)九段小学校</p>	<p>下記施設へ地中熱利用設備を導入 (1)麴町保育園 (2)九段小学校</p>	b	ー	<p>下記施設へ地中熱利用設備を導入 (1)麴町保育園(平成28年5月竣工予定) (2)九段小学校</p>

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-c	業務	○再生可能エネルギー(太陽光、バイオマス等)の導入に向け、検討を行う。	<p>○継続的に新築ビルにおける新たな再生可能エネルギーの導入に向け、検討を行っている。</p> <p>○【計画を前倒して実施】大手門タワー・JXビル(延床面積約108千㎡/平成27年11月竣工)に、環境負荷が少ない発電設備(太陽光発電)を導入した。</p> <p><導入状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸の内ビル:太陽光発電 ・日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル:太陽光発電 ・丸の内パークビル:太陽光発電 ・新丸の内ビル:木質バイオマス、バイオガス、太陽光発電 ・大手門タワー・JXビル:太陽光発電 	a	○民間企業による環境配慮の事例のPRについて、行政からの支援を強化する必要がある。	○引き続き、大丸有地区において新築ビル、既存ビルのいずれでも環境負荷が少ない電力エネルギー源の導入に向けた検討を行っていく。 ○大手町フィナンシャルシティ グランキューブ(延床面積約194千㎡/平成28年4月竣工)に、環境負荷が少ない発電設備(太陽光発電)を導入する。
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	温暖化対策促進地域の指定	II-1-a	業務	指定制度の検討	促進地域のあり方に関する検討	c	対象地域の地権者の理解と共通認識の醸成を図る必要がある。	促進地域のあり方に関する検討

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-a	業務	(1)新大手町ビルサブプラント:高効率運転の実施 (2)神田駿河台地区:高効率運転の実施	(1)新大手町ビルサブプラントの冷凍機更新工事(Ⅲ期)が平成26年7月に竣工後、高効率運転の実施 (2)神田駿河台地区第2プラント熱源機更新工事が平成26年8月に竣工後、熱供給先の拡大や運転パターンの見直し等の運用改善によりCO2排出係数が約10%向上 (3)【計画に追加で実施】丸の内一丁目センターTR3圧縮機インバータ化工事が平成27年12月に竣工後、インバータ冷凍機の年間を通して優先運転、高効率運転の実施 (4)【計画に追加で実施】内幸町センターTR1圧縮機インバータ化工事が平成28年1月に竣工後、インバータ冷凍機の年間を通して優先運転、高効率運転の実施 (5)【計画に追加で実施】アーバンネット大手町ビルサブ冷凍機更新工事中(平成29年7月竣工予定) (6)【計画に追加で実施】青山センターTR2圧縮機インバータ化工事中(平成29年12月竣工予定) (7)【計画に追加で実施】大手町地区・丸の内一丁目地区間蒸気連携配管工事実施設計中(平成30年3月竣工予定)	a	—	(1)~(4)高効率運転の実施 (5)【計画に追加で実施】工事中(平成29年7月竣工予定) (6)【計画に追加で実施】工事中(平成29年12月竣工予定) (7)【計画に追加で実施】実施設計中(平成30年3月竣工予定)
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-b	業務	(1)(仮称)大手町1-1計画プラント新設工事中(平成29年1月竣工予定) (2)(仮称)大手町2-1計画プラント新設工事中(平成30年7月竣工予定)	(1)工事中 (2)工事中 (3)【計画に追加で実施】(仮称)丸の内3-2計画プラント新設工事中(平成30年10月竣工予定)	a	—	(1)工事中(平成29年1月竣工) (2)工事中(平成30年7月竣工予定) (3)【計画に追加で実施】工事中(平成30年10月竣工予定)
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-c	業務	(仮称)大手町1-1計画プラント(中水熱ヒートポンプシステム)工事中(平成29年1月竣工予定)	工事中	b	—	工事中(平成29年1月竣工)

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗			平成28度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-a	業務	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン物流システムの継続実施 ○参加事業者の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン物流システムの継続実施 ○新規参加事業者:0社 <平成27年度実績> ・参加事業者数 テナント:30店舗 運送事業者:3社 ・削減台数:17台 	c	搬送時間や日時等の利便性が低くなることから、共用配送への参加事業者が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン物流システムの継続実施 ○参加事業者の拡大
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-b	業務	<ul style="list-style-type: none"> 「千代田区自転車利用ガイドライン」に基づき、自転車通行環境整備事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「千代田区自転車利用ガイドライン」を踏まえ、自転車通行環境整備事業に取り組んだ。 ○神田警察通り自転車道の整備 ①神田警察通り自転車道整備に係る設計業務 ②整備内容について沿道住民等へのPR ③神田警察通り沿道整備推進協議会の開催 ○交通安全地域整備(ゾーン30等)実施状況 ①神田錦町地区 ②三崎町地区 ③神田和泉町地区 	b	—	<ul style="list-style-type: none"> 「千代田区自転車利用ガイドライン」に基づき、自転車通行環境事業に取り組む。 ○神田警察通り自転車道の整備 ①神田警察通りI期工事 ②神田警察通り沿道整備推進協議会の開催 ○交通安全地域整備(ゾーン30等)の実施 ①九段北・富士見地区 ②外神田三丁目地区 ③岩本町二丁目地区

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28年度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-c	業務	<p>○事業計画・年度協定 ・27年度事業計画書策定、年度協定書を締結</p> <p>○ポート、自転車の拡大 ・45ポート・自転車600台の稼働を目指す</p> <p>○効果検証・調査 ・利用実績データを分析し、ポート適正配置、定着可能性、交通行動の変化、その他の効果等について検証・調査を実施し、本格稼働・広域連携に向けた基礎資料とする</p> <p>○普及・啓発 ・事業の定着、利用規模拡大のための普及啓発(広報紙・ホームページ・リーフレット・取材視察対応・イベント)を継続する</p> <p>・改正道交法施行を受け、自転車の安全な利用に関する周知活動も実施し、快適な自転車環境の実現に資する</p> <p>○広域連携 ・実現に向け、中央区、港区、江東区及び東京都との調整を継続 ・意見交換会に代わる4区検討協議会を設置し、料金・再配置・実施体制等、より具体的な課題解決を図る ・トライアルでの相互乗り入れ実験を実施する</p>	<p>○事業計画・年度協定 ・27年度事業計画策定(4/1)、年度協定締結(6/18)</p> <p>○ポート、自転車の拡大(H28.3月末時点) ・46ポート・自転車500台が稼働 <利用実績(H28.3月末時点)> ・会員登録者数:18,379件 ・総利用回数:237,738回 ・回転率:2.05回転 ・無人登録機:11機 ・有人窓口:5箇所</p> <p>○効果検証・調査 ・意向調査(無作為抽出1,500会員にアンケート。回答率38.9%)、移動状況調査(H26.10月~H27.10月の実績データ)の結果を分析し、課題・解決策等を取纏めた</p> <p>○普及・啓発 イベント(放置クリーンキャンペーン、エコ&サイクルフェア等)、区HP、専用HP、広報紙、チラシ、リーフレット、プレスリリース、メディアからの取材依頼、他自治体・議会からの視察依頼に対応</p> <p>○広域連携 ・「自転車シェアリングにおける相互乗り入れに関する検討協議会」設置(7/1) ・意見交換会(3回)、検討協議会(2回)、作業部会(8回)を開催、東京都環境局主催の都区連絡会へ出席(9回) ・「広域相互利用の実現に向けた自転車シェアリング広域実験実施協定書」を締結(12/15) ・4区相互乗り入れ広域実験開始(2/1~継続中)</p>	b	<p>○ポート適正配置の推進 ○実証実験期間満了後の事業方針の検討 ○広域連携の推進 ○普及・啓発</p>	<p>○事業計画・年度協定 ・28年度事業計画書策定、年度協定書を締結</p> <p>○ポート、自転車の拡大 ・65ポート・自転車800台の稼働を目指す</p> <p>○ポート適正配置の推進 ・300m間隔、駅周辺への設置を適正配置とし、公有地・民有地の開拓に加え、道路上への設置を推進する</p> <p>○実証実験期間満了後の事業方針の検討 ・これまでの検証結果を踏まえ、広域連携中の他区との調整も図りながら、実証実験期間満了後の事業方針を検討する</p> <p>○広域連携の推進 ・広域実験を当面の間継続する ・広域実験の検証、新規参入区との連携、広域連携の本格実施に向けた課題等について、東京都及び各区との協議を継続する</p> <p>○普及・啓発 ・事業の定着、利用規模の更なる拡大、自転車安全利用推進のための普及啓発を継続する(広報紙、区HP、専用HP、プレスリリース、リーフレット、取材視察対応、イベント)</p>
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-d	業務	<p>○水素自動車の導入 ○6台の庁有車を低CO2車(ハイブリット<リース>)で運転</p>	<p>○庁有車に水素自動車1台を導入 ○6台の庁有車を低CO2車(ハイブリット<リース>)で運転</p>	b	—	<p>○6台の庁有車を低CO2車(ハイブリット<リース>)で運転</p>
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-e	業務	<p>○エコめぐりガイドの作成(EV充電場所の掲載)</p> <p>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守</p>	<p>○エコめぐりガイドの作成(EV充電場所の掲載):10,000部</p> <p>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守を実施</p>	b	—	<p>○エコめぐりガイドの配布(EV充電場所の掲載)</p> <p>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守</p>

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-a	業務	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施 ○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 ・緑化受理件数: 40件 ・緑化創出面積: 10,000㎡ ○(仮称)在来種植栽選定の手引きの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施 ・練成通りの道路改修工事(歩道を保水性インターロッキングブロック舗装で整備) ○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 ・緑化受理件数: 37件 ・緑化計画書による創出面積: 6,274㎡ ・助成制度による創出面積: 107.6㎡ ○(仮称)在来種植栽選定の手引きの作成 	b	<ul style="list-style-type: none"> ○緑化に関しては新築物件は基準レベルの達成ができています。既築物件は費用や施行後の維持管理上の手間等により実施件数が伸び悩んでいる。 ○魅力創出、資産価値の向上といった観点で、緑地の質と機能を重視した事業主が増えているが、一方で緑地創出に難色を示す事業主もまだ存在する。緑地創出に対する事業主の理解を得る必要がある。 ○緑地創出の際に、生物多様性の視点を取り入れていく必要がある。 ○目標値を緑化創出面積にすると、大規模の計画の件数により年度毎で面積が大きく異なるため、緑化総創出面積/総基準値を目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施 ○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 ・緑化推進要綱の一部改正を検討 ・緑化指導による創出面積: 基準値の130%以上
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-b	業務	<ul style="list-style-type: none"> ○大手町ホトリアにおいて、環境情報発信施設と連携した緑豊かなコミュニティ広場を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ○大手町ホトリアにおいて、ホトリア広場の整備工事進行中(平成29年1月竣工予定) 	c	<ul style="list-style-type: none"> ○公民協働のもと、運営方法について適宜、課題整理と改善検討を行う。 ○まとまった大きさの緑地であり、地域活性化のための有効なイベント開催等の可能性がある。関係者と検討をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大手町ホトリアにおいて、2,800㎡のホトリア広場を整備(平成29年1月竣工予定) ○有効活用方法について関係者で検討し、実行
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-c	業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒートアイランド対策助成申請件数: 18件 ○助成制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○申請件数: 23件 ・屋上緑化(固定基盤): 2件 ・屋上緑化(プランター): 0件 ・壁面緑化: 0件 ・高反射率塗装等: 20件 ・敷地内緑化: 1件 ○助成制度を見直し、ミスト噴霧装置のメニュー化、生物多様性の観点から在来種割増の仕組みを構築 	a	ー	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒートアイランド対策助成申請件数: 17件 ○助成制度の見直し
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザイン	II-5-a	業務	<ul style="list-style-type: none"> ○地域冷暖房事業者との連携の推進 ○未利用エネルギーの導入にむけた調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域冷暖房事業者に対するヒアリングの実施 ○地域別のエネルギー特製の現状、未利用・再生可能エネルギーの賦存状況の調査 	b	<ul style="list-style-type: none"> ○地域冷暖房のメリットが理解されにくい ○道路占用手続きや地下埋設工事費などの負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ○面的エネルギー利用の導入の検討 ○未利用エネルギーの導入の検討

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-b	業務	情報共有	情報共有	b	本構想は霞が関における官庁施設の建替え計画と併せての実施を前提としており、平成27年度は官庁施設の建替え計画に進捗が見られなかったため、関係機関(官庁)の動向を見守っている。	情報共有
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-c	業務	面的エネルギー利用の導入の検討	エネルギーデザイン策定業務の中で、事業者が拠点開発における面的エネルギー利用の導入に取り組むための仕組みを検討	b	面的エネルギー利用については活用の方向性は示すことができるものの、実効性を担保することが難しい	○面的エネルギー利用の導入の検討 ○区の支援体制の検討
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-d	業務	○面的エネルギー利用の導入の検討 ○クラウド型BEMSの導入効果を検証するため、区有施設で使用エネルギー実測調査の実施	○エネルギーデザイン策定業務の中で、既成市街地における面的エネルギー利用の導入の必要性を確認 ○クラウド型BEMSの導入効果を検証するため、区有施設で使用エネルギー実測調査の実施	b	○区有地や区施設でモデルとなる事業を検討したいが具体的な候補地がない ○クラウド型BEMSについては、効果検証方法について課題がある(継続検討)	○面的エネルギー利用の導入の検討 ○クラウド型BEMSの導入の検討
ー	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-e	業務	支援方策の検討	エネルギーデザイン策定業務の中で、事業者が積極的に面的エネルギー利用に取り組むための支援方策を検討	b	開発建物以外の敷地を取り込んで検討することが難しい	区の体制の整備
E	地域連携の推進	都心の低炭素化と地方の活性化の両立	III-1-a	業務	○森林整備面積:約10ha ○カーボン・オフセットの実施	○森林整備面積:20.4ha ○カーボン・オフセットの実施(平成24年度~26年度の整備エリアの合計吸収量(相殺量):401.66t-CO2)	b	ー	○森林整備面積:約10ha ○カーボン・オフセットの実施
E	地域連携の推進	都心の低炭素化と地方の活性化の両立	III-1-b	業務	植樹ツアーの実施	植樹ツアーの実施:21名参加	b	区民からの定員増の要望に応える必要がある。	○植樹ツアーの実施(定員を40名に拡大) ○カーボン・オフセットの検討

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	区内で学び働く 昼間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-a	業務	温暖化配慮行動計画書制度の実施	温暖化配慮行動計画書制度の実施	b	—	温暖化配慮行動計画書制度の実施
D	地域連携の推進	区内で学び働く 昼間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-b	業務	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:200事業所 ○優良な取組み(最優秀賞、優秀賞、特別賞、環境配慮賞)を表彰 ○事例集を発行	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:249事業所(義務提出者218、任意提出者31) ○優良な取組みを表彰:4事業所 ○【計画を深掘りして実施】事例集(「御仕事“恵呼化”見本帖」)を千代田エコシステム推進協議会および区内大学生と協働し作成、発行:3,000部	a	—	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:245事業所 ○優良な取組み(最優秀賞、優秀賞、特別賞、環境配慮賞)を表彰 ○事例集を発行
D	地域連携の推進	区内で学び働く 昼間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-c	業務	【区】 ○CES推進協議会への支援(会費・補助金等) 【CES】 ＜主催＞ ○環境講座オプション「北の丸公園でCO2を体感しよう」(10名) ○環境講座(全8回、延42名) ○環境講座オプション「エコレシピ・コンテスト」(6件) ○エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢(170名) ＜その他イベントへの参加＞ ○ちよだ・孀恋の森づくり植樹ツアー ○環境・リサイクル祭り(169名) ○神田神社での打ち水(12名) ○区民体育大会でのゴミ分別(17名) ○福祉まつり(30名) ＜冊子の発行＞ ○エコチヨ ○温暖化配慮行動計画書制度事例集	【区】 ○CES推進協議会への支援(会費・補助金等) 【CES】 ○エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢(170名) ＜その他イベントへの参加＞ ○ちよだ・孀恋の森づくり植樹ツアー ○環境・リサイクル祭り(169名) ○神田神社での打ち水(12名) ○区民体育大会でのゴミ分別(17名) ○福祉まつり(30名) ＜冊子の発行＞ ○エコチヨ ○温暖化配慮行動計画書制度事例集	b	○CESの認知度は未だ低い。CESの認知度を向上させ、会員の拡大を図っていくため、事業内容を検討する必要がある。 ○CESの環境活動費用を確保し、千代田エコシステム推進協議会の体制強化を図ることが重要である。	【区】 ○CES推進協議会への支援(会費・補助金等) 【CES】 ○一般社団法人化 ○各種イベントや講演会等の実施
D	地域連携の推進	区内で学び働く 昼間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-d	業務	○自動販売機消灯キャンペーン:557台 ○環境連携会議の開催:1回	○自動販売機消灯キャンペーン:557台(区内10大学、14企業) ○区内大学と千代田区の環境連携会議の開催:1回	b	区内大学のほか、区内の企業・団体なども巻き込み、省エネ対策だけでなく生物多様性の推進などについても意見交換ができるようなネットワークづくりを図る。	○自動販売機消灯キャンペーン:557台 ○環境連携会議の開催:1回

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	大丸有地区における“エコツェリア”を中心とした啓発活動の実施	Ⅲ-3-a	業務	<p>○「エコツェリア協会」の取組みの推進</p> <p>○(仮称)ビジネス・エコシティ・センターの整備</p>	<p>○「エコツェリア協会」の取組みの推進(エリア内各所、3×3 Lab Futureを中心としたイベント、セミナー等の実施)</p> <p>・丸の内朝大学:4月～12月 春学期 782名 夏学期 479名 秋学期 842名 通年クラス 24名 合計 2,127名</p> <p>・大丸有地区打ち水2015:7月21日～8月29日</p> <p>・夏休みエコキッズ探検隊2015:7月21日～8月19日</p> <p>・CSV経営サロン2015:セミナー4回実施(延146名参加)、フィールドワーク4回実施(延120名参加)</p> <p>○(仮称)ビジネス・エコシティ・センターとして、大手門タワー1階に3×3 Lab Futureを整備した(平成28年2月開業)。</p>	b	<p>○認知度を向上させるとともに、さらなる協力企業・団体を発掘する。</p> <p>○地区内の企業、関係者へ活動内容の浸透を図る。</p> <p>○個別イベントの認知度向上と周辺地区との連携による賑わいの広まりを図る。</p>	<p>○「エコツェリア協会」の取組みの推進</p> <p>○「3×3 Lab Future」のより効果的な利用について検討、実施</p>
D	地域連携の推進	大丸有地区における“エコツェリア”を中心とした啓発活動の実施	Ⅲ-3-b	業務	<p>○「大丸有エコ結び」の実施</p> <p>○環境基金を、森を守る活動や環境啓発イベント等の運用に活用する。</p>	<p>○「大丸有エコ結び」の継続実施</p> <p>2009年度から2015年度までに集まった基金:7,360万円</p> <p>○イベント等への活用</p> <p>・夏イベント(打ち水やエコキッズ)への協賛</p> <p>・公的空間活用モデル事業への協賛</p> <p>・丸の内ラジオ体操への支援</p> <p>・清掃活動への支援</p> <p>・国産材ワークショップ実施</p>	b	<p>○参加店舗の増加</p> <p>○環境基金の有効な活用方法の検討</p>	<p>○「大丸有エコ結び」の継続実施(平成28年度収入は前年度比増を目標とする)</p> <p>○環境基金を、森を守る活動や環境啓発イベント等の運用に活用する(新規案件の採用も検討していく)。</p>
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-a	家庭	<p>○環境カレンダーの作成:10,000部</p> <p>○エコめぐりガイドの作成:10,000部</p> <p>○地球環境学習のチャレンジ集の作成:5000部</p>	<p>○環境カレンダーの作成:10,000部</p> <p>○エコめぐりガイドの作成:10,000部</p> <p>○地球環境学習のチャレンジ集の作成:5,000部</p>	b	—	<p>○環境カレンダーの作成:10,000部(A4版壁掛けタイプカレンダー:9,000部、卓上版カレンダー:1,000部)</p> <p>○エコめぐりガイドの配布(作成は2年に1度)</p> <p>○地球環境学習のチャレンジ集の配付(作成は2年に1度)</p>

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-b	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○環境月間イベントの実施 ○環境作品展の開催 ○夏休み子どもエコ教室の実施 ○他機関イベントへの参加 ○環境教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境月間イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・環境・リサイクル祭り ・環境月間講演会:67名参加 ・ゴーヤ・ハーブの苗(2株)の配布(各300セット) ○環境作品展の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・環境啓発ポスター:396枚 ・環境標語:781点 ・優秀作品(標語)12点を表彰 ○夏休み子どもエコ教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ガス管を使って万華鏡をつくってみよう! 神田児童館(31名)、一番町児童館(32名) 西神田児童センター(27名) ・おもしろ理科教室 <ul style="list-style-type: none"> 西神田児童センター(30名) ○他機関イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・みどりとふれあうフェスティバル ・丸の内盆踊りまつり2015 ・区民体育大会 ・エコプロダクツ2015 ○環境教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・(麴町幼稚園)栽培活動、バケツ稲作 ・(番町幼稚園)土作り、苗植え ・(千代田幼稚園)北の丸公園での自然触れ合い ・(昌平幼稚園)園庭の自然環境作り ・(いずみこども園)種まき、苗植え ・(ふじみこども園)北の丸公園での自然触れ合い ・(麴町小学校)花壇やピオトープの整備 ・(九段小学校)北の丸公園での自然体験 ・(和泉小学校)和泉公園灯での自然体験 ・(神田一橋中学校)軽井沢移動教室での野鳥・動物観察 	b	<p>○環境月間講演会は、毎年子どもをメインターゲットとして企画をしているが、講演会の開始時間が遅いため(18時～)、子どもの参加者が少ない。講演会開始時間の検討が必要である。</p> <p>○環境作品展は、区内私立中学校などにも参加してもらえるように広く募集を行うことを検討する。</p> <p>○夏休み子どもエコ教室は、実施メニューを増やすなど参加者の増加を図る。</p> <p>○環境教育の実施は、今後も子どもの興味関心に応じ、工夫して身近な環境を生かした環境教育を推進していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○環境月間イベントの実施 ○環境作品展の開催 ○夏休み子どもエコ教室の実施 ○他機関イベントへの参加 ○環境教育の実施
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-c	家庭	助成制度の見直し	助成制度を見直し、「省エネルギー改修等助成制度」を構築(平成28年4月から運用開始)	b	家庭向けの省エネを推進するために、助成制度の普及啓発を行う必要がある。	省エネルギー改修等助成制度申請件数(一般家庭):100件
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-d	家庭	省エネ診断件数:3件	省エネ診断件数:0件	c	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネ診断件数:3件

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗			平成28度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-e	家庭	家庭用LED照明購入支援制度申請数:12件	家庭用LED照明購入支援制度申請数:9件	b	—	家庭用LED照明購入支援制度申請数:12件
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-f	家庭	○イベント参加者へのエコ・アクション・ポイント配付数:2,000枚 ○家庭用LED照明購入支援制度申請数:12件 ○エコ活動を実践する団体・グループへの支援:1件	○イベント参加者へのエコ・アクション・ポイント配付数:1,900枚 ○家庭用LED照明購入支援制度申請数:9件(エコ・アクション・ポイント25,000ポイント配付) ○エコ活動を実践する団体・グループへの支援:0件	b	エコ・アクション・ポイントの配付に対し、登録率を向上させる。	○イベント参加者へのエコ・アクション・ポイント配付数:2,000枚 ○家庭用LED照明購入支援制度申請数:12件 ○エコ活動を実践する団体・グループへの支援:1件
E	地域連携の推進	千代田区の特性を活かした波及効果の最大化	Ⅲ-5-a	業務	ツアーの実施	調整がつかず、ツアーは未実施 事業計画の検討	c	—	事業計画の検討、調整
D	地域連携の推進	体感型地球温暖化対策の推進	Ⅲ-6-a	業務	「(仮称)涼風の道」内容の検討	「(仮称)涼風の道」内容の検討	b	候補地の選定が難航している。	候補地の検討
D	地域連携の推進	体感型地球温暖化対策の推進	Ⅲ-6-b	業務	○区内一斉打ち水:49件 ○打ち水月間オープニングイベント:100名 ○打ち水用具の貸出し:22件	○区内一斉打ち水:30件 ○打ち水月間オープニングイベント:80名 ○打ち水用具の貸出し:20件	b	区内一斉打ち水を地域全体で実施するために、区内事業所を中心に参加数を増やす工夫が必要である。	○区内一斉打ち水:30件 ○打ち水月間オープニングイベント:100名 ○打ち水用具の貸出し:20件

個別事業に関する進捗状況報告書

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成27年度の計画	平成27年度の進捗		平成28度の展開	
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
E	地域連携の推進	地球温暖化対策推進のためのサポート機能の充実・情報発信	Ⅲ-7-a	業務	相談件数: 5件/日 × 243日(開庁日) = 1,215件	相談件数: 1,072件 ・助成制度や建築物環境計画書制度に関する相談への対応 ・建物の省エネ手法に対する相談 ・緑化に関する相談	b	よりわかりやすいHPやパンフレットを作成する。	相談件数: 1,215件
E	地域連携の推進	地球温暖化対策推進のためのサポート機能の充実・情報発信	Ⅲ-7-b	業務	○地球温暖化対策推進懇談会の開催: 2回 ○推進本部会議の開催: 2回	○地球温暖化対策推進懇談会の開催: 2回 ○地球温暖化対策推進本部会議の開催: 2回	b	—	○地球温暖化対策推進懇談会の開催: 2回 ○推進本部会議の開催: 2回

※1 アクションプラン上、平成27年度に取り組む(検討を含む。以下同じ。)こととしていた主要事業(アクションプラン様式4取組内容詳細個票)についてのみ記載すること。

(フォローアップ項目、取組方針、取組内容、資料番号は、アクションプランから該当部分を転記すること。)

なお、平成27年度に新規追加を行った主要事業については、アクションプラン様式4取組内容詳細個票を作成のうえ記載すること。

※2「計画との比較」欄は、アクションプランへの記載と比した進捗状況を示すものとし、「平成27年度計画」と「取進捗状況」欄を比較して、以下の分類によりa)～d)の記号付すること。

a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施、b) ほぼ計画通り、c) 計画より遅れている、d) 取り組んでいない